

富山市立図書館

# 図書館だより 第18号



＜松川べりギャラリーのご案内＞  
市立図書館本館 1 階の松川べりギャラリーでは富山市が所蔵する立体作品を常設展示するとともに、季節ごとにテーマを選んだ企画展を開催しています。



企画展「富山の洋画家たち 1」  
富山市を中心に活躍した洋画家たちの中から物故者の作品を選んで展示しています。  
8月28日まで

目 次	
特集 全国中核市・市立図書館の活動指標	2
地域館紹介 vol.2 「大山図書館」	4
山田孝雄文庫の資料 18「春樹頭秘増抄」	5
いちおしライブラリー 第6回「和楽器をたのしむための本」	6
レファレンスあれこれ	8

# 特集「全国中核市・市立図書館の活動指標」

平成17年度版



## 1 登録率

(貸出登録者÷市の人口×100)

中核市の平均は30.5%。富山市は、37.6%。  
中核市34館中、11位となっています。  
富山市は、分館や自動車文庫によるサービス網の整備が進んでいることから、資料を借り出そうという意思を持った利用者が比較的多いようです。  
最高は豊田市の55.3%。

## 2 市民1人当たりの貸出冊数

(個人貸出冊数÷市の人口)

中核市の平均は4.1冊。  
富山市は、4.4冊で中核市34館中、12位となっています。  
最高は豊田市の8.1冊。

## 3 貸出密度

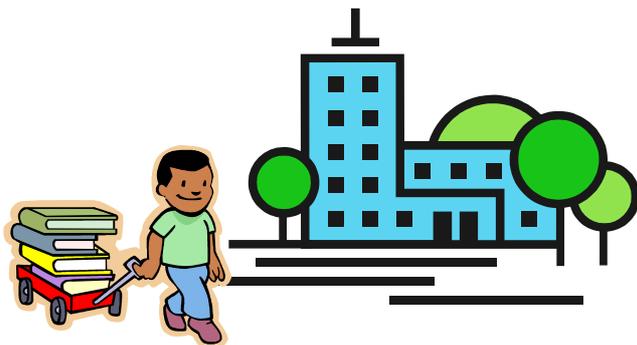
(個人貸出冊数÷登録者数)

中核市の平均は17.3冊。  
富山市は、11.7冊で中核市34館中、18位。  
最高は岡山市45.0冊となっています。  
この指標は、年間に登録者(利用者)1人当たり何冊貸し出されたかを示す、実質的な利用状況を測るものです。登録者が少ない場合や、1人当たりの貸出上限冊数が大きい場合は、この数値も高くなります。  
(例：高槻市や岡山市)

## 4 蔵書回転率

(個人貸出冊数÷蔵書数)

中核市の平均は2.2回。  
富山市は、2.3回で中核市34館中、11位。  
最高は福山市3.2回となっています。  
この指標は、1冊の蔵書が平均して、何回貸し出されたかを示すものです。新刊図書の購入冊数や開架図書の冊数に対し、書庫蔵書の割合によっても大きく左右されます。



## 5 市民1人当たりの蔵書冊数

(蔵書数÷市の人口)

中核市の平均は1.9冊。  
富山市は1.9冊で中核市34館中、15位となっています。  
最高は高槻市3.3冊。  
この指標は、地域社会における図書館の力を示しています。また、図書保障率とも呼ばれていて、蔵書の魅力を如何に維持してゆくかが鍵となります。

## 6 市民1人当たりの図書購入費

(図書購入費÷市の人口)

中核市の平均は179.7円。  
富山市は167.3円で中核市34館中、19位。  
最高は豊田市350.2円。また、金沢市213.1円、新潟市193.6円、長野市198.1円となっています。

## 7 購入図書の平均単価

(図書購入費÷図書購入冊数)

中核市の平均は1,888.4円。  
富山市は1,522円で中核市34館中、28位。  
最高は宮崎市の2,429円。

## 8 その他

「貸出コスト」や「行政効果」の指標については、基礎数字にばらつきがあるために必ずしも正確とは言えませんが、参考までに紹介します。

### 8-1 貸出コスト

(図書館費÷個人貸出冊数)

富山市は327.6円。  
また、岐阜市227.3円、新潟市224.0円、長野市376.2円となっています。

### 8-2 行政効果

(購入図書の平均単価×個人貸出冊数－図書館費)÷人口

富山市は5,278.9円。  
また、岐阜市4,491.7円、新潟市6,013.1円、長野市4,619.8円となっています。  
この指標は、総供給数から総経費を引き、市民1人当たりに対しての、図書館サービスの還元割合を金額で示したものです。

# 中核市・市立図書館の活動指標比較表

平成 17 年 6 月調査(34 都市からの回答による)

現在中核市は 35 都市あります。しかし長崎市には市立図書館がありません。

No	中核市名	貸出上限冊数 (1人当たり)	登録率	貸出冊数(市民 1人当たり)	貸出密度	蔵書回転率	蔵書冊数(市民 1人当たり)	図書購入費(市 民1人当たり)	購入図書の 平均単価	貸出コスト	行政効果
1	富山市	10	37.6	4.4	11.7	2.3	1.9	167.3	1,522	327.6	5,278.9
2	旭川市	10	50.1	5.7	11.4	2.2	2.6	188.7	1,833	131.9	9,674.7
3	秋田市	5	13.4	2.7	19.9	1.6	2.7	132.8	2,096	198.1	5,080.6
4	いわき市	15	19.3	3.9	20.0	3.0	1.3	155.6	1,592	266.8	5,126.7
5	郡山市	5	37.9	4.3	11.2	1.9	2.3	215.6	1,889	151.9	7,404.4
6	宇都宮市	無制限	38.9	6.2	15.9	2.6	2.4	191.3	1,561	154.0	8,704.5
7	川越市	5	41.2	3.8	9.3	1.8	2.2	131.6	2,178	225.4	7,483.7
8	船橋市	10	29.4	3.0	10.4	1.6	1.9	191.4	2,049	198.7	5,625.8
9	横須賀市	5	44.7	2.9	6.5	1.7	1.7	◆	◆	219.5	◆
10	相模原市	6	38.4	5.3	13.7	2.8	1.8	130.7	1,713	54.7	8,719.9
11	長野市	5	16.3	3.2	19.5	1.6	2.0	198.1	1,832	376.2	4,619.8
12	新潟市	10	15.1	4.3	28.6	3.1	1.4	193.6	1,615	224.0	6,013.1
13	金沢市	10	49.0	◆	◆	◆	2.2	213.1	2,290	◆	◆
14	浜松市	6	33.4	4.3	12.8	2.2	1.9	251.9	2,239	340.0	8,150.3
15	豊橋市	5	46.3	3.7	8.1	1.6	2.3	176.0	1,783	326.3	5,460.2
16	岡崎市	10	29.6	4.0	13.5	2.8	1.4	149.2	1,943	269.0	6,693.0
17	豊田市	15	55.3	8.1	14.6	2.7	3.0	350.2	2,388	332.6	16,616.6
18	岐阜市	5	15.0	3.2	21.3	2.8	1.2	93.9	1,639	227.3	4,491.7
19	東大阪市	8	7.8	◆	◆	◆	◆	101.3	1,327	◆	◆
20	高槻市	10	11.7	7.2	61.4	2.2	3.3	348.8	2,010	451.3	11,150.9
21	堺市	10	35.7	4.6	12.8	2.2	2.1	185.4	1,757	64.4	7,759.6
22	奈良市	5	24.6	3.0	12.2	2.0	1.5	252.7	2,230	248.7	5,966.4
23	和歌山市	5	33.3	1.9	5.7	1.8	1.1	103.0	1,971	458.0	2,870.3
24	姫路市	6	20.3	4.1	20.2	2.1	1.9	153.1	1,734	184.6	6,333.7
25	岡山市	無制限	9.7	5.2	53.3	2.7	1.9	210.8	2,019	183.3	9,514.7
26	倉敷市	20	12.9	4.8	37.5	2.1	2.3	171.8	1,624	283.2	6,470.9
27	福山市	10	28.2	4.8	16.9	3.2	1.5	179.7	1,926	77.0	8,810.0
28	高松市	15	55.0	5.8	10.6	2.4	2.4	212.7	2,232	253.8	11,490.0
29	高知市	10	10.8	4.5	42.1	2.0	2.3	260.6	1,604	309.9	5,883.0
30	松山市	5	49.6	3.6	7.2	2.6	1.4	165.4	1,915	252.5	5,973.0
31	大分市	5	30.9	1.5	4.9	1.7	0.9	88.0	1,834	144.5	2,557.3
32	熊本市	6	28.7	2.8	9.9	2.2	1.3	131.5	1,563	142.2	4,040.1
33	宮崎市	5	34.7	1.8	5.3	1.9	1.0	114.8	2,429	415.9	3,691.8
34	鹿児島市	5	32.9	1.6	4.9	1.3	1.2	120.4	1,980	304.0	2,711.1
平均値			30.5	4.1	17.3	2.2	1.9	179.7	1,888.4	243.7	6,786.0

※回答項目に異なる数値が記入してあったり、無回答であったなどの、指標化できなかった欄は、◆で表記しました。

## 地域館紹介 vol.2 富山市立大山図書館



雄大な薬師岳の麓、澄んだ水と空気、潤いある緑、そんな恵まれた自然に抱かれたところに大山図書館があります。

4月に市町村合併し、はや3ヶ月が経過しました。本館、分館の人たちの顔も徐々に覚え、仕事も少しずつ軌道にのってきたように思います。

図書館として、あらゆる利用者の、どのような要求に対しても適切に応えるため、すべての分野にわたる資料を豊富に揃えなければなりません。地域館においては予算的に限度があり、なかなか要求に沿うことが出来ませんでした。しかし現在は97万冊の中から資料を選び、週2回の連絡車で予約本がスピーディに届く利用方法を活用し、また、貸出冊数の限度が5冊から10冊へと増えたので、現状で前年と比較すると貸出冊数が5%伸びているところでもあります。

大山図書館のサービスエリアは広大な面積を有するため、図書館から離れた小学校は、月に1回自動車文庫で本の貸出を受けることを楽しみにしており、その際、司書による読み聞かせがあるので、子どもたちが本に親しみ、楽しさを実感できる機会が多くなりました。

本館、分館の皆さんとの一体感を深めながら、全ての人たちが楽しく利用できる、ゆとりと安らぎのある豊かな図書館をめざし、職員一同頑張っていきたいと思っております。

(大山図書館 加藤)

### 大山図書館の概要

- 所在地 〒930-1312  
富山県富山市上滝 577 番地
- 電話 (076) 483-0012  
FAX (076) 483-1033
- 開館時間 午前9時～午後6時
- 休館日 毎週月曜日、国民の祝日  
館内整理日(第1木曜日)  
年末年始(12/29～1/4)  
蔵書点検期間
- 交通機関 富山地方鉄道不二越上滝線  
上滝駅下車徒歩5分
- 特徴
- ・恐竜の足跡化石の展示、これに伴い恐竜の本コーナー設置(約240冊所蔵)
  - ・現代詩コーナーの設置(約280冊所蔵)
- 沿革
- ・昭和30年  
昭和の大合併により大山町立図書館設立、大山町役場2階に設置。
  - ・昭和34年  
県立図書館分館に指定、大山町中央公民館に移転。
  - ・昭和40年  
福祉センター建設に伴い、上滝小学校に移転。
  - ・昭和41年  
福祉センター3階に移転。
  - ・昭和56年  
図書館設立、11月に開館し、現在に至る。
  - ・平成7年  
AV資料貸出開始。
  - ・平成10年  
内部リニューアルに伴い、コンピュータ導入。
  - ・平成13年  
地域インターネット事業導入。
  - ・平成17年4月  
平成の大合併により1市4町2村が合併し、富山市立大山図書館となる。

山田孝雄文庫の資料 18 「春樹頭秘増抄」(しゅんじゅけんぴぞうしょう)



写本 2巻 以敬齋長伯(有賀長伯)著 寛政12年〔1800〕年写 〔59〕丁 たて24.2×よこ17.3cm 草色布表紙 以敬齋長伯自序あり 本文每半葉11行

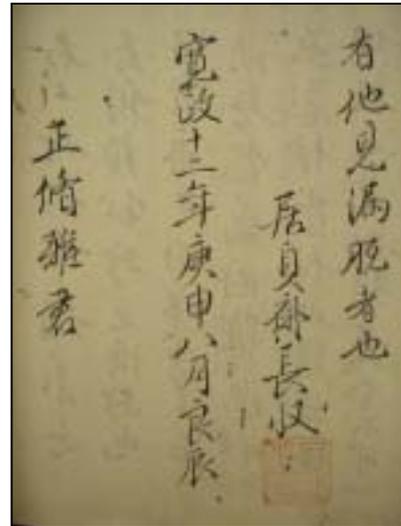
現代の私たちが古文の授業で「係り結び」を習うが、その「係り結び」の研究が、本居宣長の国語学史上の最も大きな功績であるといわれる。宣長が「係辞」「結辞」として指摘したものは、「春樹頭秘抄」では「かかへ」「おさへ」で、「春樹頭秘抄」は宣長ほかの江戸時代の「てにをは」研究に大きな影響を与えたと言われている。

「春樹頭秘抄」は和歌のための文法を述べた「姉小路式」を増補したもので、著者未詳である。烏丸光廣の跋に細川幽齋からの伝授であると記されていたことから、かつては細川幽齋の著と信じられてきた。

ここに紹介する「春樹頭秘増抄」は、さらに「春樹頭秘抄」を増補したものであり、分量は「春樹頭秘抄」の約二倍になっている。それだけ「てにをは」の研究が詳細になっているということである。

著者の有賀長伯は、山田孝雄博士の『国語学史要』の文を借りれば、「京都の人で、世々医者業としたが、その業を継ぐことを好まず、長雅に歌道を学び、業が成ってから大阪に移り住んで歌道を民間に弘めた」人である。

山田孝雄文庫に所蔵する写本は長伯の孫有賀長収の奥書のあるものである。



写本は多くの場合、いつ誰によって書写されたか分らず、なんとか手掛りはないものかと目録作業する者は、写本の隅々まで探し、その結果手掛りがなく、困窮する。しかし、この本には、はっきりと書写年が奥書に記されている。

奥書に曰く。

「右一冊者世々相承之  
春樹頭秘抄之増抄也  
以敬齋長伯師傳之口  
訣無餘蘊因雖深秘  
函底依崇信此道之篤  
附典之訖如誓盟全不可  
有他見漏脱者也  
居貞齋長収 (在判)  
寛政十二年庚申八月良辰  
正脩雅君」

(本館 亀澤)

## いちおしライブラリー第6回～和楽器をたのしむための本～

楽器を楽しむ大人が増えている。富山でも街角パフォーマンスの「マチッパー」が自慢の胡弓・津軽三味線・ギターの弾き語り等を繰り広げている。自分自身の手で弾きこなした曲はプロの演奏とは一味違う、深い感銘をもたらしてくれる。楽器をより楽しむために、その歴史や構造、演奏法についてわかりやすく説明した本を紹介。

### 『雅楽一僕の好奇心』

東儀秀樹著 集英社 2000

著者が専門にする楽器は演奏で主旋律を担当する箏（ひちりき）である。雅楽師になるためには、ほとんどすべての楽器、舞、歌を習得する必要がある。そこが西洋音楽との違いである。清少納言が『枕草子』で箏について、とてもやかましく、くつわ虫のようだと感想を述べているが、それほど音を出すのが難しく厄介な楽器である。この本は雅楽の継承者である著者が、楽器や装束、舞、楽曲の意味や構成などについて、手引書として紹介しているもの。平安時代に完成した雅楽がなぜいまままでその形も音もかえずに継承されつづけてきたのか。伝統的な雅楽の宇宙観と東儀秀樹の音楽観がわかる。



### 『雅楽千三百年の

クラシック』上野慶夫著

富山新聞社 2003

この本は富山新聞に2000年4月から連載した雅楽の歴史よもやま話である。伝統ある雅楽団体“洋遊会”を率いる著者は東儀秀樹と同じく箏を吹く。内容は、源氏の名将が伝えたという笙の秘曲、鎌倉時代の雅楽書、「教訓書」に出てくる「海賊丸」という変な名前のついた楽器のいわれ等、文学、歴史、演奏体験等、88話はどれを読んでも心が和む。



### 『まぼろしの楽器を求めて アジアの民族楽器と文化探求の旅』

田森雅一著 筑摩書房 1995

著者は初めての海外旅行でインドへ行き、大道芸人が弾き語るインド音楽に魅せられる。そして、三味線のような響きがする「サロード」という弦楽器を習いはじめる。深入りするうちに、そのルーツを追い求め、アジア各地を旅することになる。最終的には、日本の音楽を見直すようになった。楽器の伝播から、アジアの文化交流がわかり興味深い。



### 『はじめての三線

沖縄・宮古・八重山の民謡を弾く』

漆畑文彦著 晩聲社 2000

沖縄の民族楽器・三線（サンシン）の選び方から工工四（コウコウシイ）という楽譜の読み方、練習曲18曲、最初の一曲は新安里屋ゆんた、早弾きテクニックまで紹介している入門書。ちなみに三線のルーツは中国の三弦で日本の三味線と同じである。

### 『知っているようで知らない邦楽

おもしろ雑学事典』西川浩平著

ヤマハミュージックメディア 2003

日本音楽の魅力を、笛、尺八、箏、琵琶、三味線、和太鼓といった楽器の知識を始め、邦楽のジャンルについて、職人・演奏家インタビュー等さまざまな視点から紹介している。学校教育で邦楽が見直されている中、その基礎知識も必要とされている。フルート奏者であり横笛奏者として活躍する著者が邦楽の世界へと誘う。





『虚竹の笛 尺八私考』  
水上勉／著 集英社  
2001

中国で洞簫（どうしょう）と呼ばれた縦笛が、どのように日本に伝えられ「尺八」となったのだろうか。日本人留学僧と中国の女性との間に生まれ、尺八を日本に初めて伝えたといわれるのは、虚竹（シージュウ）である。宋の時代に日本にきて尺八を吹き、禅宗の一派だった普化宗の明暗寺の開祖だとされている。この本は、尺八をあらゆる側面から考察したエッセイと、一休禅師と虚竹を登場させたフィクションが織り交ざって描かれている。

著者は、幼少年期に笛（尺八）をつくることをおぼえた記憶があり、いったい、このような竹笛を誰が発明し、誰が伝えたのか知りたいと思った。著者が初めて尺八の字を見たのは一休禅師の著「狂雲集」である。一休は尺八を吹く友人を宇治へ訪ねたとある。文献栗原広太著「尺八史」によると宇治に住んでいたのは「虚竹」という人物。庵には虚竹の墓がありここで没したことがわかる。明国から日本に来た帰化僧で詩人の戴笠著「和漢竹蘭往来」この書物に書かれた尺八お伝来のさまざまがこの小説のベースになっている。虚竹の名を世襲した男たちの物語は、日本と中国の文化交流を描いていて興味深い。



尺八の歴史に就いて書かれた古書は多いのだが読み物ふうな本がおおくて資料的に尊ばれる書は少ないといわれる。そのため著者は中国の音楽批評家や南宋時代の洞簫の研究者の説に学び、尺八の歴史を考察している。

この本と一緒に尺八の歴史を探访してみると、海を渡ってきた楽器がなぜあのような哀愁をおびた音に聞こえるのか分かってくるのではないだろうか。

この作品は、2003年に第2回親鸞賞を受賞。



『三味線ざんまい』  
群ようこ／著 角川書店  
2005

著者は念願だった小唄三味線の稽古を始めた。三味線を習いたいの、「唄を覚えないと三味線は弾けません」と先生から言われる。すごく大変、だけど楽しい、お稽古のエッセイ。

春日会に属しているの、まずいちばん最初に習う唄は『水の出花』である。「水の出花と二人が仲はせかれあわれぬ身の因果。たとえどなたの意見でも思い思いきる気はさらにない」こんな短い唄なのにどうしてもおぼえられない。唄本はただ唄の文句がかいてあるだけで、旋律などは一切かいてない。著者はまず、楽譜がないのにとまどう。いかに譜面をたよりにしてきたかがわかった。和楽器を習ってきた昔の人々は五感が鋭く耳だけをたよりに、口伝をおこなってきたのである。唄を習いはじめてひと月後、先生から「そろそろお三味線をはじめても大丈夫でしょう」とおゆるしがでた。内心、やった一っとうれしくなったものの、唄をおぼえるだけでこんなに大変なのに、これに三味線が加わったらどうなるのかと不安になった。でもやはりうれしさのほうが大きい。固い決意のもとに三味線を習い始めた著者に、次々と試練が襲いかかる。

先生の所属している流派は春日会で、森まゆみ著『明治東京畸人伝』に芸ひと筋に生き、春日会を築いた「春日とよ」について書かれているが、最近とみに日本の音楽に魅かれ、三味線小唄のひとつも習ってみたいとのこと。



その道の奥深い世界を、この本を読んでのぞいてみてはいかがだろうか。

(新庄分館 永森)

## レファレンスあれこれ

知っているようで案外知らないこと、そういえば聞いたことがあるけれど何だったか…というような、よくある質問を紹介します。

Q. 「古稀・米寿」などの  
年祝いの一覧をみたい。



A. 長寿を祝う儀式を「年祝い」という。『日本大百科全書』（小学館 1988）の「年祝い」の項目には広い意味で解釈すれば七五三、袴着・元服などの成人式、女の十九歳や三十三歳、男の二十五歳や四十二歳などの厄年などの人生儀礼も含まれるが、一般的には還暦からのお祝いのことをさすとある。簡単な説明はあるが一覧は載っていない。

『現代マナー事典』（講談社 1990）「大人の祝い 賀寿」に賀寿の名称・意味と由来の一覧がある。六十歳もしくは六十一歳の還暦から百二十歳の上寿までであることがわかる。また、『大辞泉』（小学館 1995）『新世紀ビジュアル大辞典』（学習研究社 1998）のような百科事典を兼ねた国語辞典の巻末にも「人生儀礼」として一覧が載っている。その他に『冠婚葬祭 暮らしの便利事典』（小学館 2000）、『図解冠婚葬祭とマナー大事典』（成美堂出版 2004）、など冠婚葬祭に関する図書をみると、長寿の祝いの名称・意味と由来の一覧や祝い方がわかりやすく書かれている。

また、「銀婚式は25年、金婚式は50年がよく知られているが、結婚1年目からの〇〇婚式の一覧をみたい」と尋ねられることもよくある。この場合も、先にあげた図書のなかに「結婚祝い」「結婚記念日」としてとりあげられている。

Q. 「日本三大七夕祭り」と  
いわれているのは、仙台と  
平塚、もうひとつは何処か  
知りたい。



A. 日本三名山、日本五大御伽噺や世界の七不思議など数字のつくことばを調べるときには、『名数数詞事典』（東京堂出版 1985）を見るとよい。ここには、「仙台」「尾張一ノ宮」「平塚」とある。『日本数字用語辞典』（日本文芸社 1980）では、「仙台」「平塚」「高岡」となっている。これら2冊は古い事典だったので、インターネット検索を行ってみた。「仙台（宮城県）」「平塚（神奈川県）」と後のひとつが「安城（愛知県）」「一宮（愛知県）」「清水（静岡県）」「高岡（富山県）」などいろいろあげられている。はっきりこれと決まったものはないようだが、どうやら最近では「安城」とされているようだ。安城市は昭和53年「全国郷土祭」で仙台・平塚とともに笹飾りを紹介して以来「日本三大七夕祭り」と呼ばれるようになったとある。

Q. 7月20日が  
「海の日」となった  
由来を知りたい。



A. 『日本国語大辞典 第2巻』（小学館 2001）には、「海洋、貿易等に関する知識を広めるための記念日」とあり、明治9年（1876）、明治天皇が東北巡幸の帰りに、灯台視察船明治丸で、青森から函館を経て横浜に帰られた日に由来しており、平成8年（1996）より国民の祝日となった、とある。『記念日の事典』（東京堂出版 1999）を見ると、もともと政府により昭和16年（1941）に「海の記念日」として制定されていたとある。

また、財団法人日本海事広報協会のホームページに「海の日制定の経緯」が詳しく載っている。もともとは昭和16年に制定された「海の記念日」で、由来は前述のとおりである。その後、「海の恩恵に感謝し、海洋国日本の繁栄を願う日」として、平成8年に7月20日が国民の祝日「海の日」と制定され、平成15年から7月の第三月曜日となり、三連休化されている、とある。

（大広田分館 北山）